



郵政産業ユニオン TOKYO

● 発行 ●
 郵政産業労働者ユニオン
 東京地方本部
 発行責任者 鶴島 一広
 〒104-0031 中央区京橋 3-6-3
 京橋通郵便局 5F
 TEL・FAX 03-3535-5447
 piwutokyo@yahoo.co.jp

安倍政権のアベノミクスが始まって4年になります。破綻はだれが見てもあきらかです。大企業が潤っただけで私たちの実質賃金は上がらず、消費も伸びず、経済の好循環には程遠いと言わざるを得ません。日本の非正規率は1994年の20.3%から2015年には37.5%と拡大しています。格差拡大の一途をたどっているというのが現実です。企業の内部留保額

は過去最高の約370兆円とされています。日本郵政グループは3兆5259億3200万で上場企業のトップ100社のうち8位とされています。

日本郵便のJPEXの失敗以降私たちの賃金はカットされ、抑えられ続けてきました。経営者は何の責任も取らず、すべての責任を労働者に押し付けてきました。赤字解消を名目に、そ



16春闘スト突入本社前集会

ストライキ背景に 要求掲げ 春闘 どうかゝたなかあつ!

して、株式相場以降さらに、要員を減らし、長時間労働、サービス残業を増大させ、過大なノルマを強要し自爆営業、違法営業を蔓延させてきました。また、正社員を非正規社員に置き換えてきました。

わたしたちは、この17春闘において大幅賃上げを要求します。非正規、正規を問わず安心して暮らすことのできる賃金の大幅引き上げを求めます。ペアゼロを絶対に許しません。内部留保の一部を切り崩して労働者のベースアップに充てるべきです。

非正規社員の正社員化と均等待遇を強く求めます。署名活動や20条裁判の勝利を通じてその実現を勝ち取っていきましょう。

要員不足による長時間過密労働、36協定違反と勤務時間管理のずさんさ、営業等におけるコンプライアンス違反、パワハラ、セクハラなどの人権侵害を許し

ません。差別的な人事評価、解雇・雇止めを許しません。労働者を自死に追い込むようなことはあってはならないことです。

安倍政権による憲法改悪、戦争する国づくり、沖縄への基地の押し付け、原発再稼働に反対しよう。平和で安心して暮らせる社会を実現していきましょう。

日本郵便は「ブラック企業大賞2016」で電通の大賞に続いて、特別賞とウエブ投票賞を受賞しました。このことは、日本郵便および日本郵政グループが社会的に「悪質」と認定されたことを意味します。経営陣はこのことを深く受け止め企業体質の改善・向上に真摯に努めるべきです。

この17春闘を、職場の多くの仲間の思いに寄り添って、共に、要求を大きく掲げ、その実現のために奮闘しよう!

ストライキ権を確立し、ストライキを背景に要求を実現していきましょう!

キャラバン行動や本社前集会などに結集し、地域の仲間と連帯・団結して17春闘に勝利していきましょう!



国と地方を合わせた長期債務が2016年度末に1000兆円を超えると報道されています。政府は社会保障を維持するにはさらなる消費税の増税が必要であると宣伝しています。そもそもこの債務が増えた原因は大企業や富裕層に税制優遇したせいで積みあがったものです▼消費税が導入された1989年度以来の28年間の消費税収は328兆円あります。しかし法人3税は271兆円、所得税・住民税は260兆円も税収を減らしています。消費税はこれらの減収の穴埋めに使われて来ました。増えた国と地方の債務を、政府は消費税のさらなる増税と社会保障の削減で解決しようとしています▼消費税増税と社会保障の削減を進めたら国民生活は成り立ちません。大企業は減税分を賃上げや設備投資に使わないため、内部留保が年々積み増しされ現在366兆円以上あると言われています▼社会保障を維持しながら債務を削減するには、富裕層や大企業が能力に応じた税負担をしなければなりません。内部留保を活用して国民の所得を増やすことも必要です。

人員削減の中 深夜に業務集中

―深夜労働改善プロジェクトが始動―

「郵便・物流ネットワーク再編」の本格実施から1年になるうとしています。和光市に開局された北部郵便局、新東京、東京多摩、銀座局の集中処理局。集配郵便局の内務事務を集中局に移管した集配郵便局。「ネットワーク再編」は、これらの郵便局で深夜に働く労働者の身体を襲っています。

地域区分局・拠点局では

「郵便・物流ネットワーク 内務事務を地域区分局・拠点再編」は、西部、南部地域の局に再編・集中して1年になり、10数局を除く集配郵便局で進められ、到着や差し立ての

地域区分局・拠点局では、深夜時間帯に作業が集中し、より過酷な労働となっています。作業部署によってほとんどが期間雇用社員中心で作業が行われています。しかし、頼りの期間雇用社員の雇用が計画通りに進まず、常に人員不足で対応するため、深夜明けの超勤もあり労働密度が増

しています。本来、深夜労働は昼間帯労働より軽減されるべきですが、「郵便・物流ネットワーク再編」は、ますます過酷な深夜労働となっています。

集配局では

再編された集配局では減員された要員配置の中で夜間に



集中した業務となっています。ここでも、計画予定の期間雇用社員が集まらず、残された社員に仕事が課せられます。部署や時間帯によっては、期間雇用社員が一人の時もあり、他の部署の社員にたよるを経ない状態です。集配局でも人員不足でまともに休憩も取れず、深夜明けでも超勤となっています。

改善要求を準備

集配部でも、地域区分局で道順組み立てされた郵便の到着が遅れた時は、配達出発が遅れ、暗くなっても配達が終わらなくなっています。

シリーズ 「無期転換制度の基本的概要」

③ 定年及び継続雇用

今年、4月1日、「無期転換の申し込み」と「手続き」を経て「アソシエイト社員としての雇用」が開始されます。

今年、4月1日、「無期転換の申し込み」と「手続き」を経て「アソシエイト社員としての雇用」が開始されます。



今年、4月1日、「無期転換の申し込み」と「手続き」を経て「アソシエイト社員としての雇用」が開始されます。

―17春闘アンケートに寄せられた意見から―

- 長期欠務者が出ると有給休暇が取れない。時間給すら取れない曜日がある。年末年始も最低一日は出勤しなければならない要員状況だが期間雇用社員には繁忙手当がなく正規雇用者との格差が大きい。格差をなくし魅力ある職場にしないと人は集まらない。(期間雇用社員)
- 郵便部主任T氏は、どうも私のことが気に入らないらしく、大変冷たい態度で接してくるのですが、この日とどうにかならないでしょうか？(正規社員)

東京地本は、実態を踏まえ「深夜労働改善プロジェクト会議」を立ち上げました。会議で議論を重ねながら、「深夜労働改善要求」をまとめ、会社に改善を求めていく運動を構築していきます。

新春クロスワード解答

沢山の応募ありがとうございます。 (景品はありませんが...) = 答え = Aい、Bい、Cこ、Dと、Eあ、Fる、Gと、Hし、Iに 「いいことあるとしに」でした。 今年も健康でありますように

当面の行動日程

- 2月4日・5日 第5回中央委員会
- 2月6日 20条裁判証人尋問
- 2月9日 「ネットワーク再編」会議
- 2月10日・11日 全国書記長会議
- 2月19日 国会19日行動
- 2月20日 20条裁判証人尋問
- 2月21日 第2回支部長会議
- 2月27日～3月1日 春の労働相談
- 3月5日 非正規交流集会
- 3月6日 ・地本17春闘キャラバン行動
- ・郵政本社前集会&非正規の正社員化と均等待遇求める院内集会

